

夏休み「里山塾」開講

きららか
ネット

【射水】

竹林整備や竹炭作りを通して里山保全に取り組む射水市の「きららかネットワーク」（堺谷陽平代表）の夏休み企画「学びと遊びの時―きららか里山塾」が18日、



同市西高木の古民家で開講した。8月27日まで計5回開催し、幅広い世代に楽しみながら里山保全の重要性に触れてもらう。

【Webbnnに写真4枚】

里山塾は、夏休みを利用し

た企画として初めて開催。北陸新幹線や富山湾と循環型社会、政治問題などをテーマにした講話と演奏会、同ネットワークが完成させたピザ窯で焼いた竹炭パウダー入りのピザを楽しむ会食談義を行う。

初回は、北日本新聞社相談役の梅本清一さん(同市)が講師を務め、北陸新幹線の功罪を説明。「富山に来やすくなったことが何よりのメリット。人口減少が進む中で移住促進が一つのポイントになる」と述べた。琵琶奏者の古沢史水さん(埼玉)は「壇ノ浦の戦い」のドラマチックな語りと琵琶演奏を披露。参加者は窯焼きの手作りピザを楽しんだ。写真。

次回は7月25日。各回ともに定員30人で、参加費は1家族700円。申し込みはメール kirarakanet@gmail.com

北日本新聞 平成28年7月20日(木)